300–1100 MHz 4入力増幅・合成モジュール



300–1100 MHzで原資料の機能図は4つの増幅入力IN1–IN4を共通OUTに接続します。代表利得30 dB、飽和出力5 dBm。雑音指数は未規定です。図は信号経路を示し、入力間アイソレーション、振幅・位相平衡、追加の合成利得を実証するものではありません。

80 × 60 × 14 mm本体にSMA-Kメス、独立した貫通給電と接地端子を備えます。代表電源5 V、電流350 mA。電源7 Vと入力12 dBmは絶対最大値です。動作温度–40～+70 °C、保存温度–40～+85 °C。

電気仕様

項目	値	単位
動作周波数	300–1100	MHz
利得	30 (代表値)	dB
飽和出力電力（Psat） [1]	5 (代表値)	dBm
入力S11（資料の符号付き値） [2]	–10 (代表値)	dB
電源電圧	5 (代表値)	VDC
動作時電流	350 (代表値)	mA

[1] 飽和出力Psatであり、P1dBや保証線形出力ではありません。

[2] 資料の負のS11表記を保持し、正のリターンロスに変換しません。

絶対最大定格

項目	値	単位
電源電圧の絶対最大定格	≤7 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 7 VDC.)	VDC
入力電力の絶対最大定格	≤12 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 12 dBm.)	dBm
動作温度	–40–+70	°C
保存温度	–40–+85	°C

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
RF入力数	4
合成RF出力数	1

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
増幅・合成経路	4つの増幅入力を1つの出力に合成 (資料は各経路または同時入力時の試験条件、入力間アイソレーション、振幅・位相平衡を規定していません。合成による性能向上の保証は導きません。)
RF入力コネクタ	SMA-Kメス
RF出力コネクタ	SMA-Kメス
DC電源端子	貫通コンデンサ
接地端子	接地金属片

機械仕様

項目	値	単位
本体寸法	80 × 60 × 14	mm
取り付け穴中心間距離	55.6 × 75.6	mm
取り付け穴	4 × Φ2.7T (原記号4×Φ2.7Tを保持します。資料ではTの意味を説明しておらず、貫通穴を示すとは確認できません。)	mm

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。